

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 4

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	交通安全施設等整備事業		担当部署	建設経済部建設課		
総合計画上の位置付け	安心-生活の安全・安心を確保する-交通安全・防犯意識を高める-交通安全の確保					▼
対象	市道を通行する車両及び歩行者等					
手段(方法)	市道において防護柵、区画線等の交通安全施設の整備					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	車両及び通行者の交通事故防止を図り、市民の安全空間の確保につなげる。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	道路法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	安全施設整備 L=3, 681m			達成状況	100 %
	30年度実績	安全施設整備 L=3, 680m			達成状況	100 %
	元年度計画	安全施設整備 L=5, 500m			達成状況	- %
	元年度実績	安全施設整備 L=4, 653m			達成状況	100 %
	2年度計画	安全施設整備 L=6, 900m			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
細事業又は実施内容							
歩道新設(m)							
安全施設整備(m)			3,681	3,680	5,500	4,653	6,900
交差点改良(箇所)							
直接事業費	単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
歩道新設(m)							
用地買収							
交差点改良(箇所)							
安全施設整備(m)			8,993,160	8,588,160	18,200,000	8,157,740	20,200,000
事務費			114,140	100,627	140,000	110,432	120,000
修繕費			491,940	445,985	460,000	428,674	480,000
財源内訳	国県支出金				4,910,000		
	地方債		6,700,000	6,400,000	10,100,000	6,100,000	15,100,000
	その他						
	一般財源		2,899,240	2,734,772	3,790,000	2,057,740	5,700,000
直接事業費総額			9,599,240	9,134,772	18,800,000	8,157,740	20,800,000
人件費:人日数	一般職員:人日数		168	168	168	168	168
	技能職員:人日数		24	24	24	24	0
	臨時職員:人日数		12	12	12	12	12
人件費総額			3,632,400	3,633,600	3,658,800	3,658,800	3,274,800
総事業費計			13,231,640	12,768,372	22,458,800	11,816,540	24,074,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	ほぼ同額(繰越除く)					
	元年度予算と2年度予算の比較	交差点安全対策工事の事業費の差による					

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	整備箇所(地元要望等)の調整及びそのための財源確保
市民のニーズ・満足度	通学路等の安全確保のための施設整備要望が多い
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 3 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	市民の交通安全確保に貢献。通学路の安全確保や、老朽化施設の修繕などから事業費が増える傾向にあるため、予算確保が課題となる。
次年度予算への見直し方針	通学路点検などによる地元要望を的確に把握し、緊急度の高い箇所については予算を確保する。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	通学路点検などによる地元要望を的確に把握し、緊急度優先順位をつけ適宜整備する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 継続的に整備、更新していく。
	3年度以降の展開方針 継続的に整備、更新していく。
部長の確認所見	近年の交通状況や安全点検等の状況を把握しながら、計画的に実施すること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 40

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	土木詰所整備事業		担当部署	建設経済部建設課		
総合計画上の位置付け	にぎわい-交流基盤を整備する-利便性の高い道路網を構築する-生活道路ネットワークの整備					▼
対象	土木詰所整備事業					
手段(方法)	土木詰所、車両倉庫、プレハブ倉庫修繕					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	施設修繕を随時に実施することで、施設の安全性確保に努める。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	—					
その他実施の根拠	老朽化、経年劣化による修繕					
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	適宜、適切に修繕を実施する。					
単年度目標(達成状況)	29年度実績	土木詰所入口ゲート改修外			達成状況	100 %
	30年度実績	土木詰所車庫シャッター修繕外			達成状況	100 %
	元年度計画	資材ストックヤード設置外			達成状況	- %
	元年度実績	なし			達成状況	100 %
	2年度計画	なし			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
土木詰所修繕		1式	1式	1式	なし	なし
直接事業費 単位:円		29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
土木詰所修繕		873,720	277,517	500,000	0	0
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	873,720	277,517	500,000	0	0
直接事業費 総額		873,720	277,517	500,000	0	0
人件費:人日数	一般職員:人日数	24	24	24	0	0
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費 総額		456,000	456,000	456,000	0	0
総事業費 計		1,329,720	733,517	956,000	0	0
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	土木詰所廃止のため執行なし				
	元年度予算と2年度予算の比較	事業終了				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	—
市民のニーズ・満足度	—
連携事業	—
関連事業	—
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	土木詰所の廃止を行った。
次年度予算への見直し方針	—
関連部課等との協議状況	—
関連部課	—
今後の方向性	右の該当を選択 終了 ▼
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 終了 ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 —
	3年度以降の展開方針 —
部長の確認所見	—

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 41

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	道路橋梁整備事業		担当部署	建設経済部建設課		
総合計画上の位置付け	にぎわい-交流基盤を整備する-利便性の高い道路網を構築する-生活道路ネットワークの整備					▼
対象	市道、橋梁、街路樹					
手段(方法)	市内一円の道路、橋梁等の修繕及び街路樹の剪定、補植等を行う。					
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	道路利用者が安全で快適利用するため。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	道路法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	道路修繕L=1,899m 街路樹管理N=2,000本 街路樹管理路線=34 道路除草L=11,800m 側溝清掃L=736m			達成状況	100 %
	30年度実績	道路修繕L=894m 街路樹管理N=2,000本 街路樹管理路線=36 道路除草L=11,800m 側溝清掃L=317m			達成状況	100 %
	元年度計画	道路修繕L=1,100m 街路樹管理N=2,500本 街路樹管理路線=36 道路除草L=11,800m 側溝清掃L=1,000m			達成状況	- %
	元年度実績	道路修繕L=1,194m 街路樹管理N=2,000本 街路樹管理路線=36 道路除草L=11,800m 側溝清掃L=394m			達成状況	100 %
	2年度計画	道路修繕L=1,100m 街路樹管理N=2,000本 街路樹管理路線=36 道路除草L=11,800m 側溝清掃L=760m			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
道路修繕延長(m)		1,899	894	1,100	1,194	1,100
橋梁修繕延長(m)		435	39	230	211	240
街路樹管理数(本)		2,000	2,000	2,500	2,000	2,000
街路樹管理路線数		34	36	36	36	36
道路除草延長(m)		11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
側溝清掃延長(m)		736	317	1,000	394	760
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
道路修繕 道路災害等その他修繕 事務費		55,455,298	41,871,955	55,578,000	50,172,606	61,239,000
橋梁修繕等(R1予算、R2予算繰越含む)		127,704,920	94,175,640	102,542,000	100,891,820	174,639,000
街路樹管理		22,620,600	23,745,960	22,687,000	21,980,620	22,978,000
ポケットパーク等管理		8,706,920	8,664,279	8,862,000	8,762,979	8,947,000
道路除草		9,499,680	8,906,760	9,217,000	9,215,800	8,295,000
側溝・路面清掃		6,889,517	7,039,489	6,724,000	6,722,640	5,522,000
財源内訳	国県支出金	78,485,000	50,333,000	52,921,000	52,888,000	93,566,000
	地方債	48,400,000	35,200,000	51,900,000	47,000,000	75,100,000
	その他				2,023,000	2,104,000
	一般財源	103,991,935	98,871,083	100,789,000	95,835,465	110,850,000
直接事業費総額		230,876,935	184,404,083	205,610,000	197,746,465	281,620,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	324	324	324	324	324
	技能職員:人日数	288	288	288	288	0
	臨時職員:人日数	12	12	12	12	12
人件費総額		10,556,400	10,557,600	10,846,800	10,846,800	6,238,800
総事業費計		241,433,335	194,961,683	216,456,800	208,593,265	287,858,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	橋梁点検数の増				
	元年度予算と2年度予算の比較	橋梁修繕数の増				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	老朽化が急速に進む道路施設に対し予算及び技術者の確保が十分でない。				
市民のニーズ・満足度	橋梁など道路施設の老朽化も激しく、要望箇所も増大し、住民ニーズを充足できていない。				
連携事業					
関連事業					
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり				
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業				
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある				
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()				
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	2	3	4
	理由等所見欄				
<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている					
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄		
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入	1			
<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()					

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価 (CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	道路利用者の安全性、利便性の向上。老朽化した施設や街路樹、道路除草の維持管理費用が不足している。				
次年度予算への見直し方針	老朽化施設等の維持管理費用の確保が必要である。				
関連部課等との協議状況	-				
関連部課	-				
今後の方向性	右の該当を選択	1継続(拡充)			▼
	利用者の安全確保の観点から優先順位の高い事業を見極め対応する。				

5 二次評価 課長の評価 (CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()				
今後の方向性	右の該当を選択	1継続(拡充)			▼
	2年度の取り組み方針	安全性の確保の観点から優先順位をつけ実施する。			
	3年度以降の展開方針	安全性の確保の観点から優先順位をつけ実施する。			

部長の確認所見 安全性の確保を念頭に緊急度、優先順位を十分精査し、効率的、効果的な執行に努めること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 42

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	(公共灯整備事業)公共灯設置外	担当部署	建設経済部建設課
総合計画上の位置付け	安心-生活の安全・安心を確保する-交通安全・防犯意識を高める-交通安全の確保		
対象	市設置の公共灯		
手段(方法)	公共灯の新設及び美化柱の塗装修繕、主要な道路に設置している自治会灯を公共灯に移行する。		
手法(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	交通安全及び防犯対策を推進するとともに、塗装等老朽化が著しい美化柱を補修し、街路景観の整備を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等			
その他実施の根拠	自治会要望		
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	要望に対し、迅速に対応する。		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	LED設置・・・57灯 修繕(塗装)・・・12灯	達成状況 100 %
	30年度実績	LED設置・・・33灯 修繕(塗装)・・・12灯	達成状況 100 %
	元年度計画	LED設置・・・60灯 修繕(塗装)・・・24灯	達成状況 - %
	元年度実績	LED設置・・・28灯 修繕(塗装)・・・24灯	達成状況 100 %
	2年度計画	LED設置・・・35灯 修繕(塗装)・・・18灯	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
設置(LED灯)		57	33	60	28	35
修繕(塗装)		12	12	24	24	18
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
設置(LED灯)		2,598,480	2,333,880	1,900,000	1,883,200	1,900,000
修繕(塗装)		190,080	220,320	500,000	486,000	500,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他	1,835,000	1,870,000		839,000	
	一般財源	953,560	684,200	2,400,000	1,530,200	2,400,000
直接事業費総額		2,788,560	2,554,200	2,400,000	2,369,200	2,400,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	48	48	48	48	48
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	36	36	36	36	36
人件費総額		1,153,200	1,156,800	1,160,400	1,160,400	1,160,400
総事業費計		3,941,760	3,711,000	3,560,400	3,529,600	3,560,400
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	新設台数の減少に伴う事業費減				
	元年度予算と2年度予算の比較	同額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	主要な道路に設置している自治会灯は市へ移行する。
市民のニーズ・満足度	設置要望数が増加しており、市民のニーズは高い。また、設置により夜間の安全性確保及び犯罪防止のため効果的である。
連携事業	自治会管理灯補助
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	LEDへの移行を推進する。
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ LED化を推進し、維持費及び消費電力の軽減を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 夜間の安全性を確保し、あわせてLED化への移行により経費削減を図る。 3年度以降の展開方針 夜間の安全性の向上を図る。
部長の確認所見	防犯灯としての役割を果たすよう、適切な維持管理に努めること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 43

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	(公共灯整備事業)自治会管理灯補助事業	担当部署	建設経済部建設課
総合計画上の位置付け	安心-生活の安全・安心を確保する-交通安全・防犯意識を高める-交通安全の確保		
対象	街灯設置計画のある自治会		
手段(方法)	街灯を新設する自治会にその事業費を補助する。		
手法(該当番号を記入)	4 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	自治会灯を設置することにより交通安全及び防犯対策を推進する。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	自治会管理灯に係る管理費補助金交付規則		
その他実施の根拠	自治会要望		
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	11灯設置(LED)	達成状況 100 %
	30年度実績	8灯設置(LED)	達成状況 100 %
	元年度計画	10灯設置(LED)	達成状況 - %
	元年度実績	6灯設置(LED)	達成状況 100 %
	2年度計画	10灯設置(LED)	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
自治会灯設置(LED)		11	8	10	6	10
自治会数		7	4	10	3	10
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
自治会灯設置(LED)		426,000	474,120	500,000	375,320	500,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	426,000	474,120	500,000	375,320	500,000
直接事業費総額		426,000	474,120	500,000	375,320	500,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	48	48	48	48	48
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	36	36	36	36	36
人件費総額		1,153,200	1,156,800	1,160,400	1,160,400	1,160,400
総事業費計		1,579,200	1,630,920	1,660,400	1,535,720	1,660,400
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	自治会からの要望数が減				
	元年度予算と2年度予算の比較	同額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	既に設置している街灯のうち、主要な道路に設置しているものは市に引き継ぐ。
市民のニーズ・満足度	自治会からの設置要望数が増加傾向にあるため、効果的である。
連携事業	公共灯設置事業
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	予算の範囲内においてLED灯への移行を行いながら実施する。
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	設置灯具は、LEDとする。
関連部課	市民対話課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	既に設置している自治会灯で、設置当時と比較して周辺環境が整備されている箇所及び主要な道路に設置しているものは公共灯へ移行する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 市民の安全・安心を目的に地元との調整を図る。
	3年度以降の展開方針 市民の安全・安心を目的に地元との調整を図る。
部長の確認所見	地元との調整を十分に図りながら実施すること。

3 事務事業に関する自己診断 (CHECK)	
事務事業遂行上の課題	実施箇所が多く限られた予算で対応することが困難である
市民のニーズ・満足度	予算の範囲内で可能な限り住民要望に対応しているが十分ではない。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒⇒⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価 (CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	危険箇所の改良を行い、計画的な道路の整備を行っているが、国費の内示が低く事業進捗に時間を要している。
次年度予算への見直し方針	社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に事業進捗を図る。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼
	歩道リニューアルなど、社会資本整備総合交付金を活用し、計画的に事業を推進する。

5 二次評価 課長の評価 (CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 利用者の安全性を向上させる事業を計画的に実施する。
	3年度以降の展開方針 利用者の安全性を向上させる事業を計画的に実施する。

部長の確認所見	社会資本整備総合交付金を活用し、財源を確保しつつ、優先順位を見極め、計画的に実施すること。
---------	---

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 45

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	(河川改修事業)河川美化対策		担当部署	建設経済部建設課		
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-さわやかな生活環境を保全する-環境美化の推進					▼
対象	市内の河川					
手段(方法)	河川の護岸及び法面等の除草、ゴミ収集、樹木の伐採等を行う。					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	河川の清掃を行うことで流水機能の維持、河川環境の保全を推進する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事业)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	河川法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	3河川(2級河川1水系、普通河川2)			達成状況	100 %
	30年度実績	3河川(2級河川1水系、普通河川2)			達成状況	100 %
	元年度計画	3河川(2級河川1水系、普通河川2)			達成状況	- %
	元年度実績	3河川(2級河川1水系、普通河川2)			達成状況	100 %
	2年度計画	3河川(2級河川1水系、普通河川2)			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
河川清掃延長(km)		13	13	13	13	15
河川清掃面積(ha)		21	22	22	22	22
堆積土砂除去等(m)		305	566	150	709	150
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
河川環境美化業務(2級河川)		26,004,240	26,003,160	26,010,000	26,279,000	26,010,000
河川清掃業務(普通河川ほか)		2,093,040	2,047,680	2,000,000	1,821,600	7,600,000
堆積土砂除去等(普通河川ほか)		339,880	291,600	400,000	298,100	400,000
財源内訳	国県支出金	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	15,487,160	15,342,440		15,398,700	21,010,000
直接事業費総額		28,487,160	28,342,440	13,000,000	28,398,700	34,010,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	204	204	204	204	204
	技能職員:人日数	168	168	168	168	0
	臨時職員:人日数	12	12	12	12	12
人件費総額		6,476,400	6,477,600	6,646,800	6,646,800	3,958,800
総事業費計		34,963,560	34,820,040	19,646,800	35,045,500	37,968,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	ほぼ同額				
	元年度予算と2年度予算の比較	河川清掃の事業量増加による事業費増				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	実施箇所、範囲および実施時期の調整
市民のニーズ・満足度	予算制約による対象面積や回数の不足により十分な対応が出来ない。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	除草等により生活環境の保持に貢献。継続的に実施する必要があるが、予算制約による対象面積や回数の不足により十分な対応が出来ない。
次年度予算への見直し方針	環境保持のみならず、河川の流水断面の確保などの観点からも、事業費が増大する傾向にあるため財源を確保する必要がある。
関連部課等との協議状況	兵庫県光都土木事務所との契約関係
関連部課	兵庫県光都土木事務所
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	県との連携を図り計画的に実施する。2級河川については、管理者である県において実施するよう検討協議が必要。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 実施箇所、時期等について効果的に実施する。
	3年度以降の展開方針 実施箇所、時期等について効果的に実施する。
部長の確認所見	地元、県と連携を図りながら、実施箇所、時期等検討の上、環境整備に努めること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 46

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	(河川改修事業)河川改修		担当部署	建設経済部建設課		
総合計画上の位置付け	安心-生活の安全・安心を確保する-災害に強いまちをつくる-治山・治水対策事業の推進					▼
対象	市内の市管理河川					
手段(方法)	河川護岸等の老朽化に伴う改修整備、未整備箇所の整備					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	河川の改修により安全安心を確保する。					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	河川法を基準					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	3河川		達成状況	100	%
	30年度実績	2河川		達成状況	100	%
	元年度計画	3河川		達成状況	-	%
	元年度実績	1河川		達成状況	100	%
	2年度計画	2河川		達成状況	-	%

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
改修施工延長(m)		78	92	1,050	75	70
排水路改良		116				
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
河川改修		5,595,480	4,966,920	4,800,000	4,726,700	4,600,000
排水路改良		1,298,160				
測量委託						
財源内訳	国県支出金					
	地方債	3,600,000				
	その他					
	一般財源	3,293,640	4,966,920	4,800,000	4,726,700	4,600,000
直接事業費総額		6,893,640	4,966,920	4,800,000	4,726,700	4,600,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	132	132	132	132	132
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	12	12	12	12	12
人件費総額		2,588,400	2,589,600	2,590,800	2,590,800	2,590,800
総事業費計		9,482,040	7,556,520	7,390,800	7,317,500	7,190,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	ほぼ同額				
	元年度予算と2年度予算の比較	財政査定による減				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	事業予算の継続的な確保
市民のニーズ・満足度	事業の継続的な進捗が市民の安全で安心な河川整備に直結する。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	河川整備を行い災害に強いまちをつくる。限られた予算内では改修できる範囲が限られてしまう。
次年度予算への見直し方針	引き続き継続的な整備が必要である。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	老朽箇所、危険箇所の把握に努め、計画的な改修事業を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 緊急性や状況に応じて計画的かつ効率的な対応に努める。 3年度以降の展開方針 緊急性や状況に応じて計画的かつ効率的な対応に努める。
部長の確認所見	流路の状況や危険箇所の把握を十分に行い、河川機能の向上及び復旧に努めること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 47

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	(港湾整備事業)海岸美化対策		担当部署	建設経済部建設課		
総合計画上の位置付け	快適-自然と共生するまちをつくる-さわやかな生活環境を保全する-環境美化の推進					▼
対象	市内海岸(恋が浜、大塚、大泊、坂越)					
手段(方法)	海岸に打ち上げられた海草、塵芥等の収集処分					
手法(該当番号を記入)	3	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	海岸の清掃による環境美化の推進					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等	海岸法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	~	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	1.4km		達成状況	100 %	
	30年度実績	1.4km		達成状況	100 %	
	元年度計画	1.4km		達成状況	- %	
	元年度実績	1.4km		達成状況	100 %	
	2年度計画	1.4km		達成状況	- %	

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
海岸清掃面積(ha)		2	5	3	2	3
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
		891,365	1,941,840	510,000	466,400	2,010,000
財源内訳	国県支出金	445,000	970,000	250,000	230,000	1,000,000
	地方債					
	その他					
	一般財源	446,365	971,840	260,000	236,400	1,010,000
直接事業費総額		891,365	1,941,840	510,000	466,400	2,010,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	96	96	96	96	96
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		1,824,000	1,824,000	1,824,000	1,824,000	1,824,000
総事業費計		2,715,365	3,765,840	2,334,000	2,290,400	3,834,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	台風の襲来が少なかったため事業費減				
	元年度予算と2年度予算の比較	当初予算は同額(元年度は補正により予算減)				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	ごみ等の処分方法や不法投棄防止対策の検討
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入
	<input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
手段の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 理由等所見欄
事業費の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄
執行体制の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 1 2 理由等所見欄
有効性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	環境美化の推進。台風の規模や襲来回数により、量・回数が変動する。
次年度予算への見直し方針	清掃に係る経費に加え、不法投棄禁止等の対策の検討。
関連部課等との協議状況	光都土木事務所との契約
関連部課	光都土木事務所
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
	台風の規模や襲来回数により、量・回数が変動するため、事業費確保など、県と調整を図りながら実施する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 台風襲来時期における清掃作業のタイミングの検討による清掃回数の低減
	3年度以降の展開方針 台風襲来時期における清掃作業のタイミングの検討による清掃回数の低減
部長の確認所見	地元及び県と連携を図りながら実施すること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 48

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	(港湾整備事業)御崎地区公有水面施設整備	担当部署	建設経済部建設課
総合計画上の位置付け	安心-生活の安全・安心を確保する-災害に強いまちをつくる-防災事業の推進		
対象	御崎地区公有水面区域		
手段(方法)	高潮対策による防潮堤の整備		
手法(該当番号を記入)	3 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	防潮堤の点検・整備により施設の安全確保及び防災機能の向上を図る		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	港湾法準拠		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績		達成状況 %
	30年度実績	点検延長390m	達成状況 100 %
	元年度計画	委託業務(設計)	達成状況 - %
	元年度実績	委託業務(設計)	達成状況 100 %
	2年度計画	護岸嵩上げ工事 L=523m	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
延長(m)			390	390	390	523
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
点検・調査			2,468,880			
設計委託				3,000,000	2,585,000	
工事						12,500,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					12,500,000
	その他					
	一般財源		2,468,880	3,000,000	2,585,000	
直接事業費総額		0	2,468,880	3,000,000	2,585,000	12,500,000
人件費:人日数	一般職員:人日数		96	96	96	96
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数		12	12	12	12
人件費総額		0	1,905,600	1,906,800	1,906,800	1,906,800
総事業費計		0	4,374,480	4,906,800	4,491,800	14,406,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	ほぼ同額				
	元年度予算と2年度予算の比較	工事へ移行するため事業費増				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)		
事務事業遂行上の課題	設計に基づく事業費の確保	
市民のニーズ・満足度	生活の安全・安心の確保	
連携事業		
関連事業		
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり	
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業	
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある	
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()	
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている	
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄	
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()	
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)		
事務事業実施による成果と課題	事業の実施により施設の安全確保及び防災機能の向上が図られる。	
次年度予算への見直し方針	令和2年度において、整備完了。それ以降は適時維持管理費用の確保が必要となる。	
関連部課等との協議状況		
関連部課	光都土木事務所	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="終了"/>	
	令和2年度において、整備完了。適時施設の点検が必要。	
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)		
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()	
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="終了"/>	
	2年度の取り組み方針	県、地元調整を適切に行い、事業を完了させる。
	3年度以降の展開方針	適時、施設点検を実施する。
部長の確認所見	地元及び県と連携を図りながら実施すること。	

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 62

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	急傾斜地崩壊対策事業	担当部署	建設経済部建設課			
総合計画上の位置付け	安心-生活の安全・安心を確保する-災害に強いまちをつくる-治山・治水対策事業の推進					▼
対象	急傾斜地崩壊危険個所に居住する住民並びに住居等					
手段(方法)	急傾斜地の崩壊による災害に対し、市民の安全・安心を確保する。					
手法(該当番号を記入)	3,5	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input checked="" type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	がけ崩れ等の災害に対し、市民が安全に暮らせる環境を整備する					
実施の必要性(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律					
その他実施の根拠	地方財政法第27条					
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	有年横尾(擁壁工 L=55m)、目坂(擁壁工 L=110m)、坂越(測量・設計)、周世(測量・設計)			達成状況	100 %
	30年度実績	有年横尾(擁壁工 L=85m)、目坂(擁壁工 L=12m)、坂越(測量・設計)、周世(測量・設計)、目坂(設計)			達成状況	100 %
	元年度計画	有年横尾(測量)、目坂(調査)、坂越(調査)、周世(測量・調査)			達成状況	- %
	元年度実績	有年横尾(擁壁工)、坂越(測量)、周世(測量)			達成状況	100 %
	2年度計画	負担金:【坂越(擁壁工)、周世(擁壁工)、木津(測量・設計)、目坂(擁壁工)】市【木津(測量)】			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)		目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画	
細事業又は実施内容							1式	
測量								
設計								
工事								
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算		
測定・調査・補償(負担金)		2,760,000	2,445,000	398,000	162,000	15,000,000		
工事(負担金)		4,750,000	4,700,000		236,000	1,500,000		
測定・調査・補償(市施工)						5,500,000		
工事(市施工)								
財源内訳	国県支出金							
	地方債	6,700,000	5,900,000			20,500,000		
	その他							
	一般財源	810,000	1,245,000	398,000	398,000	1,500,000		
直接事業費総額		7,510,000	7,145,000	398,000	398,000	22,000,000		
人件費:人日数	一般職員:人日数					24		
	技能職員:人日数							
	臨時職員:人日数							
人件費総額		0	0	0	0	456,000		
総事業費計		7,510,000	7,145,000	398,000	398,000	22,456,000		
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	県事業費の減額による減						
	元年度予算と2年度予算の比較	県事業費の増額及び市の新規事業による増						

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	急傾斜地については、市民の生命や財産を守るため、常に注視する必要がある、また、急傾斜地崩壊対策事業の新規要望について、地元及び兵庫県と協議が必要。
市民のニーズ・満足度	急傾斜地の外井を防ぐことにより、急傾斜付近に居住している市民の生命や財産を守ることができる。
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	対策地域の住民の生命及び財産を保証して安全安心な生活の確保を図る。
次年度予算への見直し方針	地元要望箇所の保全対象家屋の状況を確認し、県に対し事業化の調整を行う。
関連部課等との協議状況	
関連部課	兵庫県光都土木事務所河川砂防2課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼ 県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の円滑な実施のため、地元との調整を行い、また地元からの新規要望については、県に要望する。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 県が実施する急傾斜地崩壊対策事業が円滑に進捗するよう調整を行い、今後の新規要望箇所は地元及び県と協議し、調整する。
	3年度以降の展開方針 県が実施する急傾斜地崩壊対策事業が円滑に進捗するよう調整を行い、今後の新規要望箇所は地元及び県と協議し、調整する。
部長の確認所見	県や地元等の関係機関と調整を図り、事業進捗に努めること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 249

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名称	土木等設計積算システム推進事業	担当部署 建設経済部建設課
総合計画上の位置付け	にぎわい-地域情報化を推進する-地域情報化を推進する-行政の情報化の推進 ▼	
対象	土木等設計積算を行う職員	
手段(方法)	民間の設計積算システム及び兵庫県の単価データを利用	
手法(該当番号を記入)	3 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	システムを利用することにより、設計積算における合理的な作業が実施可能となり、正確な設計業務及び合理化を推進する。	
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務	
根拠法令・条例等		
その他実施の根拠		
始期・終期	年度 ~ 年度	
到達目標(根拠数値・数値又は文章)		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	設計積算業務の効率的かつ正確な処理を実施 達成状況 100 %
	30年度実績	設計積算業務の効率的かつ正確な処理を実施 達成状況 100 %
	元年度計画	設計積算業務の効率的かつ正確な処理を実施 達成状況 - %
	元年度実績	設計積算業務の効率的かつ正確な処理を実施 達成状況 100 %
	2年度計画	設計積算業務の効率的かつ正確な処理を実施 達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
設計積算システム利用回数		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
設計積算利用人数		15	15	15	15	15
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
		5,978,577	5,855,133	6,920,000	6,523,695	5,900,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,978,577	5,855,133	6,920,000	6,523,695	5,900,000
直接事業費総額		5,978,577	5,855,133	6,920,000	6,523,695	5,900,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	96	96	96	96	96
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	12	12	12	12	12
人件費総額		1,904,400	1,905,600	1,906,800	1,906,800	1,906,800
総事業費計		7,882,977	7,760,733	8,826,800	8,430,495	7,806,800
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	サーバ統合に伴うAutoCADライセンスの更新のため増				
	元年度予算と2年度予算の比較	リース機器の期間満了による減				

3 事務事業に関する自己診断 (CHECK)	
事務事業遂行上の課題	システムを運用する環境の整備。必要最小限でのライセンス運用。
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価 (CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	共同利用への参加により、経費を削減している(H24より)。
次年度予算への見直し方針	庁内サーバとの一本化により経費削減を計画している。
関連部課等との協議状況	情報政策担当と一本化に向けた協議を行っている。
関連部課	区画整理課、都市計画課、下水道課、情報政策担当
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼ システムの適切な運用を図り、設計業務の効率化を図る。 リース期間満了後の機器を見直し、経費の削減を図る。

5 二次評価 課長の評価 (CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="3"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続 (現状維持) ▼
	2年度の取り組み方針 必要なライセンス数の把握に努める。 3年度以降の展開方針 更なる設計業務の効率化を図るため、システムの運用は継続するが、システム的环境整備を検討する。
部長の確認所見	費用対効果を図りながら、機器の投資及び運営を行うこと。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 250

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	道路台帳整備事業	担当部署	建設経済部建設課
総合計画上の位置付け	にぎわい-交流基盤を整備する-利便性の高い道路網を構築する-生活道路ネットワークの整備		
対象	全市道路線		
手段(方法)	台帳作成業者に委託し、測量及び経年修正による市道の廃止、認定を行ったものを台帳加除による経過措置を記載する。		
手法(該当番号を記入)	3 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	道路法に基づく台帳整備		
実施の必要性(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	道路法に基づく台帳整備		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	29年度実績	市道総延長 L=433,721.6m	達成状況 100 %
	30年度実績	市道総延長 L=433,757.8m	達成状況 100 %
	元年度計画	市道総延長 L=433,757.8m	達成状況 - %
	元年度実績	市道総延長 L=433,806.3m	達成状況 100 %
	2年度計画	市道総延長 L=433,806.3m	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
実延長		424,913.4	424,947.5	424,947.5	424,996.0	424,996.0
舗装道路延長		377,464.6	377,500.2	377,500.2	377,548.7	377,548.7
実延長舗装率(%)		88.83	88.83	88.83	88.83	88.83
路線数		1,282	1,283	1,283	1,283	1,283
橋梁数		404	393	393	393	393
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
		1,998,000	2,700,000	3,000,000	23,430,000	3,000,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,998,000	2,700,000	3,000,000	2,343,000	3,000,000
直接事業費総額		1,998,000	2,700,000	3,000,000	2,343,000	3,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	96	96	96	96	96
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	48	48	48	48	48
人件費総額		2,145,600	2,150,400	2,155,200	2,155,200	2,155,200
総事業費計		4,143,600	4,850,400	5,155,200	4,498,200	5,155,200
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	台帳整備の対象となる路線の減				
	元年度予算と2年度予算の比較	同額				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	他部署における工事において、市道の区域変更等が生じる内容の把握の徹底
市民のニーズ・満足度	
連携事業	
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考える事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
執行体制の効率性	目標達成度 100 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
有効性	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	一時的な費用の増加はあるが、利便性の向上を図るため、道路台帳の電子化や、他の道路等の情報を統合した情報公開型GIS「赤穂市地図情報サービス」の構築について検討する。
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 1継続(拡充) ▼ 電子化及び情報公開型GISについて、調査研究を行う。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 1継続(拡充) ▼ 2年度の取り組み方針 道路台帳の適正な管理に努める。 3年度以降の展開方針 道路台帳の適正な管理に努める。電子化の検討。
今後の方向性	
部長の確認所見	台帳の適正な管理に努めること。

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 253

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	地籍調査事業	担当部署	建設経済部建設課
総合計画上の位置付け	快適-質の高い都市機能を整備する-土地の利活用を適正に進める-地籍調査事業の推進		
対象	調査対象面積 117.23km ²		
手段(方法)	一筆地ごとの所有者、地番、地目を調査士、境界の位置を公共基準点(世界測地系)に基いた測量を行い、それぞれの土地の位置及び面積を確定し、その成果を法務局に送付し、法第19条1項地図を備え付ける。		
手法(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	調査を行うことにより、財産の保護(適正課税)、境界紛争防止、災害復旧、行政コストの削減、行政財産の適正管理等土地取引の円滑化、適正化を図る。		
実施の必要性(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	土地基本法、国土調査法、不動産登記法、測量法		
その他実施の根拠			
始期・終期	14 年度 ~ 45 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	$(126.85 - 9.65 - 11.67) / (45 - 31) = 7.54(\text{km}^2/\text{年})$		
単年度目標(達成状況)	29年度実績	0.21	達成状況 100 %
	30年度実績	0.59	達成状況 100 %
	元年度計画	0.23	達成状況 - %
	元年度実績	0.23	達成状況 100 %
	2年度計画	1.34	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
地籍調査筆数(立会)		343	93	510	510	312
地籍調査面積(ha)		0.21	0.59	0.23	0.23	1.34
認証申請地区		3	1	3	3	2
登記申請地区			3	3	3	2
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
事業費		7,960,000	11,230,000	12,150,000	12,150,000	21,600,000
財源内訳	国県支出金	5,970,000	8,292,000	9,112,500	9,112,500	16,161,000
	地方債					
	その他					
	一般財源					
直接事業費総額		5,970,000	8,292,000	9,112,500	9,112,500	16,161,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	168	168	168	168	336
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		3,192,000	3,192,000	3,192,000	3,192,000	6,384,000
総事業費計		9,162,000	11,484,000	12,304,500	12,304,500	22,545,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	地籍調査に係る国・県負担金の増				
	元年度予算と2年度予算の比較	地籍調査に係る国・県負担金の増				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	国・県公共事業と連携した事業区域を実施しているため、筆界についての細心の注意が必要である。
市民のニーズ・満足度	筆界確定の意義は大きい
連携事業	国道2号相生有年道路拡幅事業、県道赤穂佐伯線拡幅事業、千種川河川改修事業
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	財産の保護(適正課税)、境界紛争防止、災害復旧、行政コストの削減、行政財産の適正管理等土地取引の円滑化、効率化等の成果が得られる。過去の調査結果に対する処理(国・県への認証申請、法務局への登記申請)を行う必要がある。
次年度予算への見直し方針	公共事業の先行型調査としての位置づけをより鮮明にし、事業の拡充を図る。
関連部課等との協議状況	確定測量図面の提供依頼(区画整理課・税務課)、課税データ等の提供依頼(税務課)
関連部課	区画整理課、農業委員会、税務課、市民課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	公用事業との連携を図り、効果的かつ効率的な事業実施に努める。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 公共事業先行型の色彩を鮮明にし、また、災害等に備えさらに事業を拡充する必要がある。
	3年度以降の展開方針 公共事業先行型の色彩を鮮明にし、また、災害等に備えさらに事業を拡充する必要がある。
部長の確認所見	関係機関、地元との連携を高めること